

福井県医師会

だより

第606号 平成23年(2011)12月



ホワイト・スパイダー (大汝峰にて)

福井市 石黒 信彦

表紙写真説明：ホワイト・スパイダー (大汝峰にて)

福井市 石黒 信彦

とうとう、白山に新雪がきた。今日は、大汝峰の頂上で枯れたコメススキが、雪を纏ってすばらしい演技を披露してくれていた。

醫 縫 録

求 先 達

医療関係者担当理事 三 崎 明 孝



本年4月より新理事に就任いたしました。若輩者ですので、御教導のほどよろしくお願い申し上げます。実のところ、私は福井市医師会の庶務理事も務めておりまして、二足のわらじを履くことになりました。大中会長に「伴食理事でお願いします」と申し上げたのですが、医療関係者担当を拝命いたしました。主として看護師と医療秘書関係を担当するものようですが、会議や県外への出張に追われているのが現状です。

手始めとして、6月30日に平成23年福井県ナースセンター事業運営委員会に出席、委員長に就任、司会進行を務めることになりました。事業内容を要約しますと、看護師の確保・就業促進を図るもので、県より看護協会への委託事業です。病院関係者すべてからの看護師が足りないという発言とは裏腹に、ハローワーク福井からは、充足しているとの報告を受けました。不思議です。

県下退職者を調査すると、勤務年数が3年未満の者が多く、全国的な傾向とも合致するようです。対策としては、若者の精神的な弱さが根底にあるのでは…ということで、新人研修の充実を求める声が出ました。また、看護師志望者を増やすために、高校生の1日看護体験の病院枠を広げてほしいという意見も出ました。

准看護師関連として、7月28日に県庁で福井県准看護師試験委員会が開催されました。本県では昨年72名が受験し71名が合格しております。本年は愛知県が試験全体の調整担当で、本県は試験問題の一部を作成し、期日までに問題提出を済ませました。

また、この試験委員会は行政処分を審議する役割もあり、7月11日に報道された准看護師の放火事件について討論しましたが、起訴・判決をみない

時点では判断困難、保留となりました。

寡聞にしてH22年9月に福井県医師会担当の『全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会』が開催されたことを全く知らなかったのですが、昨年度末(3月26日)に開催予定の第2回医療保険請求事務実技委員会、第3回常任委員会、第2回運営委員会が、東日本大震災の影響でH23年4月23日に延期されたため、東京で突然会計報告をすることとなり、大いに面喰いました。更には、いつの間にかH23年度運営委員、常任委員、医療保険請求事務実技試験委員に就任することになっておりました。開業医にはあまり関係がなく、事情を知らずに担当理事、全国委員になってしまい困惑しました。

さらに、H23年9月30日に静岡市で『第61回全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会・第2回運営委員会』が開催され、参加しました。医療保険請求事務実技試験委員会にも出席しました。去年は445名受験し、82%の合格率だそうです。この試験は各学院生の成績になるそうです。知らないことばかりで、皆さんに質問を浴びせて失笑をかっていたものと思います。

総会では、H22年度会務報告、H22年度収支決算報告を私が担当しました。H23年度事業計画案、収支予算案協議を行い、次期当番県を愛知県と決した後、懇親会もそこそこに帰宅の途につきました。

このように足取りも覚束ない状態ですが、何とか責務を果たしていきたいと思っておりますので、よろしくご支援のほどお願い申し上げます。